

no more Plastic



あなたは

## マイクロプラスチック問題の 原因を作っていませんか!?

マイクロプラスチック問題は、いまや、地球温暖化、気候変動に匹敵する緊急に対応すべき環境問題として挙げられています。マイクロプラスチックは、不法投棄されたプラスチック製品はもちろん、水田に撒かれる化学肥料を含むカプセルや、工業用研磨剤、化粧品に含まれているスクラブ材、合成繊維などから発生し、それらが河川や海に流れていき、海洋生態系に大きな影響を与えていることが分かってきています。本講座では、四日市大学環境情報学部教授の千葉氏を講師に招き、マイクロプラスチックの伊勢湾での広がり等の実態や新しい知見について、触れていきます。

講師

**千葉 賢 氏**

四日市大学環境情報学部 教授

microplastics

# プラスチックが 生き物を苦しめている

矢作川流域圏懇談会 公開講座

令和3年 7月31日(土) 15:00~17:00

開催方法

ZOOMによるオンライン開催 定員500名

申込  
方法



①氏名 ②メールアドレス ③お住まいの市区町村  
を必ず明記のうえお申込み下さい。

お申込みいただいた方に講座で使用する Zoom の URL をお知らせします。  
申込期限：7月21日(水) 17:00まで

参加  
無料

## 講師プロフィール

**千葉 賢 氏** 四日市大学環境情報学部 教授

東京都武蔵野市生まれ。  
東京大学工学部航空学科卒。同大学工学系研究科で学位・博士(工学)を取得。  
三井海洋開発(株)、(株)計算流体力学研究所、(株)海洋工学研究所を経て四日市大学へ。  
2003年より2007年まで三重県地域結集型共同研究事業「閉鎖性海域の環境創生プロジェクト」(通称:英虞湾プロジェクト)の環境動態シミュレーション部門の研究リーダーを務める。  
2016年より現在まで、三重県と共同で、伊勢湾の貧酸素水塊発生問題と漂流漂着ゴミの研究を続けている。



## プログラム

- 15:00~15:10 第一部 挨拶(開催趣旨)、問題提起
- 15:10~16:20 第二部 ①マイクロプラスチックとは?  
②マイクロプラスチックの生態系への広がりについて  
(一般論+他の研究者の研究の紹介)  
③プラスチックごみとマイクロプラスチックによる伊勢湾の汚染  
④今後の対策~私たちに出来ることは何か?~
- 16:20~16:50 第三部 ディスカッション
- 16:50~17:00 第四部 閉会挨拶



## 矢作川流域圏懇談会とは?

矢作川流域圏懇談会は、山部会・川部会・海部会・市民部会で構成され、河川管理者だけでは解決できない課題に対して、流域一体となって取り組み、互いに連携し、いい川づくりと調和のとれた流域圏全体の発展に繋げるための組織です。“流域は一つ、運命共同体”という共通認識のもと、治水、利水、環境、総合土砂管理、維持管理などの課題に対し、民・学・官の連携・協働で取り組みを行っています。

### 「市民部会」からのメッセージ

本公開講座は、「市民部会」が全面的に企画推進しています。流域圏全体の共通課題を、多くの人に知ってもらいたいという市民部会メンバーの想いから、この公開講座を開催することになりました。流域圏に住む方たちだけでなく、多種多様な方々の参加をお待ちしております。



### 矢作川流域圏懇談会ホームページ



カメラをかざして QR コードを読み取ると、矢作川流域圏懇談会の HP にアクセスすることができます。読み取れない方は、以下の URL から、もしくは「矢作川流域圏懇談会」で検索をお願いいたします。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kaigi/yahagigawa/ryuiki-kondan/>



矢作川流域のゆるキャラ  
**はぎぼう**

はぎぼうは、カエルの手とアユの口、ヒレをもつイノシシの子(うりぼう)。

矢作川流域にすむ陸生、両生、水生の生き物を組み合わせ、流域の自然の豊かさを表しています。背中模様は「川」の字。ふだんはぼーっとしているけれど、矢作川のこととなると鼻息をフンフンさせながら熱く語る矢作川オタクです。